

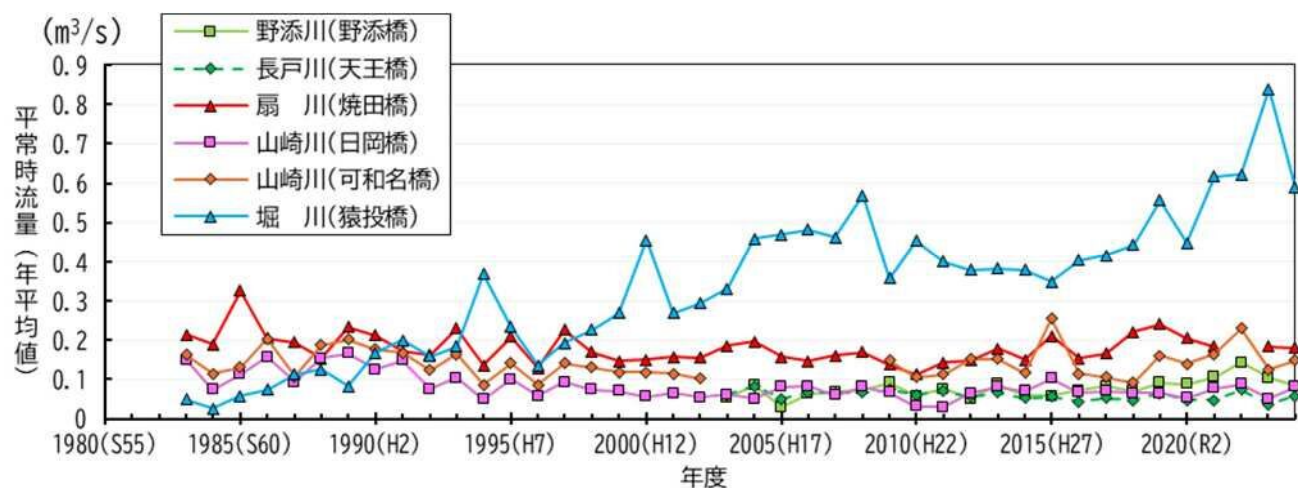
水の環復活なごや戦略実行計画2030 指標一覧

3つの環	指標	計画策定時 令和5（2023）年度	実績 令和6（2024）年度	目標 令和12（2030）年度
環① 水循環 機能の 回復	新たに確保された緑の面積（累計）	136ha （2021年度からの3か年）	165.5ha （2021年度からの4か年）	400ha （2021年度からの10か年）
	市施設における新築・改築等にあわせた雨水 流出抑制施設の設置	実施 （66か所）	実施 （60か所）	継続実施
	水循環を理解し、水循環に配慮した暮らしを している市民の割合	9.3%	7.9%	15%
	市内の雨庭の新規設置数（民間を含む）	-	0か所	10か所以上
環② 人にも 生き物にも やさしい 水辺や 緑がある まちづくり	水辺や緑が身近に感じられると思う市民の割 合	66.6%	65.4%	70%
	名古屋の河川の水がきれいだと思う市民の割 合	34.7%	28.3%	40%
	市内における自然共生サイト認定数（累計）	2か所	4か所	5か所以上
環③ みんなで 取り組む 人づくり、 場づくり	水循環について理解している市民の割合	45.9%	43.4%	50%
	水循環に関する講座等の参加者数（累計）	950人	1,037人	7,000人 （2024年度からの7か年）
	なごやSDGsグリーンパートナーズ登録認定数 （累計）	2,916件	2,994件	4,300件
	「なごや環境大学」を支える団体数（累計）	526団体	545団体	580団体

水の環境復活なごや戦略実行計画2030 状況把握項目一覧

3つの環	状況把握項目		計画策定時 令和5（2023）年度	実績 令和6（2024）年度
環① 水循環 機能の 回復	水収支	蒸発散	22.5%	- (2026年度算出予定)
		浸透・貯留	15.1%	- (2026年度算出予定)
		直接流出	62.4%	- (2026年度算出予定)
	市施設における雨水貯留浸透の対策量※（単年）		1,956.3 m3	2,602.7 m3
	民間施設における雨水貯留浸透の対策量※（単年）		1,572.8 m3	999.4 m3
	自宅で浸透雨水ますを設置している市民の割合		2.6%	2.5%
	自宅で雨水タンクを設置している市民の割合		4.1%	3.4%
	自宅で庭や駐車場を舗装しない、または透水性舗装等になっている市民の割合		13.4%	11.5%
	自宅で緑化に取り組んでいる市民の割合		33.8%	34.0%
	自宅で打ち水を実施している市民の割合		25.6%	25.0%
	事業所で浸透雨水ますや雨水タンクを設置している事業者の割合		13.2%	9.3%
	事業所で庭や駐車場を舗装しない、または透水性舗装等になっている事業者の割合		18.1%	18.5%
	事業所で緑化に取り組んでいる事業者の割合		46.4%	43.8%
	事業所で打ち水を実施している事業者の割合		27.7%	30.2%
	緑被率		21.5%（2020年度）	- (2025年度算出予定)
	生産緑地の面積		194.1 ha	183.7 ha
	市内の雨庭の数		-	2
環② 人にも 生き物にも やさしい 水辺や 緑がある まちづくり	緑被率【再掲】		21.5%（2020年度）	- (2025年度算出予定)
	名古屋の「みどり」が多いと思う市民の割合		66.3%（2020年度）	- (2025年度算出予定)
	名古屋の「みどり」に満足している市民の割合		65.9%（2020年度）	- (2025年度算出予定)
	公園や森など身近な自然環境とふれあっている市民の割合		54.5%	60.0%
	親しみがある公園があると思う市民の割合		69.5%	70.2%
	市民一人当たりの都市公園の面積		7.1 m2	7.1 m2
	河川流量、浅層地下水位の状況		別紙参照	
	市内河川の水質環境目標値(BOD)の達成状況		70%	74%
	熱帯夜日数		49日	56日
	市内で身近に農にふれあえる機会があると思う市民の割合		26.2%	24.2%
環③ みんなで 取り組む 人づくり、 場づくり	市民参加型生きもの調査の延べ参加者数（累計）		4,147人	8,334人
	主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数		37,000人	41,000人
	環境学習センターの利用者数		30,673人	33,009人
	なごや環境大学共育講座数		146講座	132講座
	「名古屋市民の森づくり」への参加者数（累計）		201人	265人
	市内で身近に農にふれあえる機会があると思う市民の割合【再掲】		26.2%	24.2%

1 河川流量(市内河川の平常時の流量(年平均値)の推移)

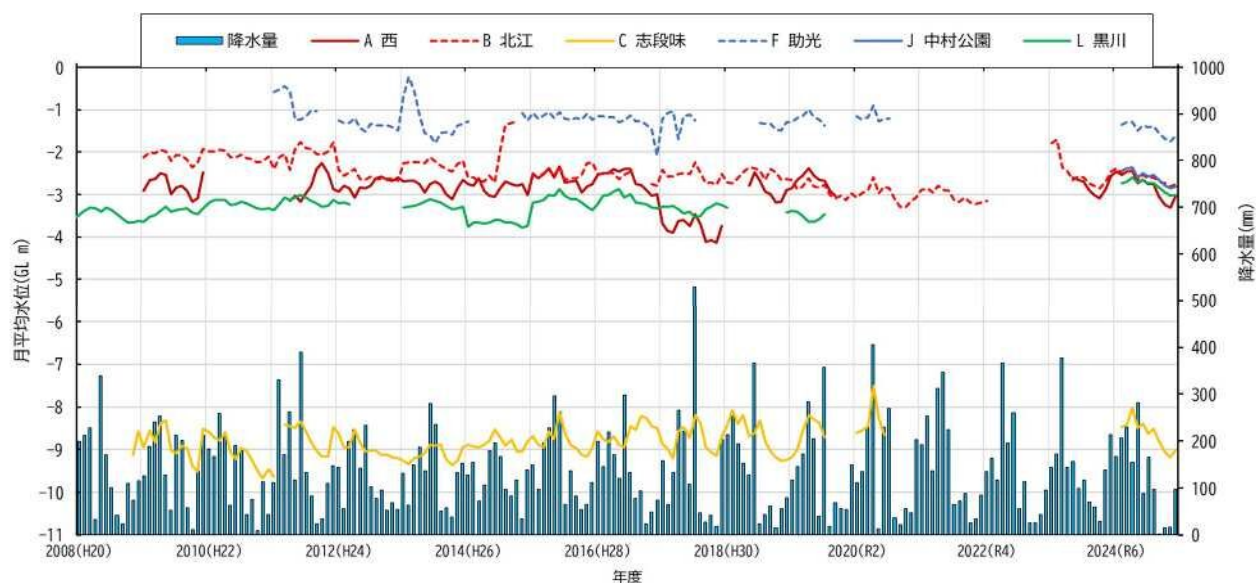


2 地下水位(浅層地下水位観測所における月平均水位の推移)

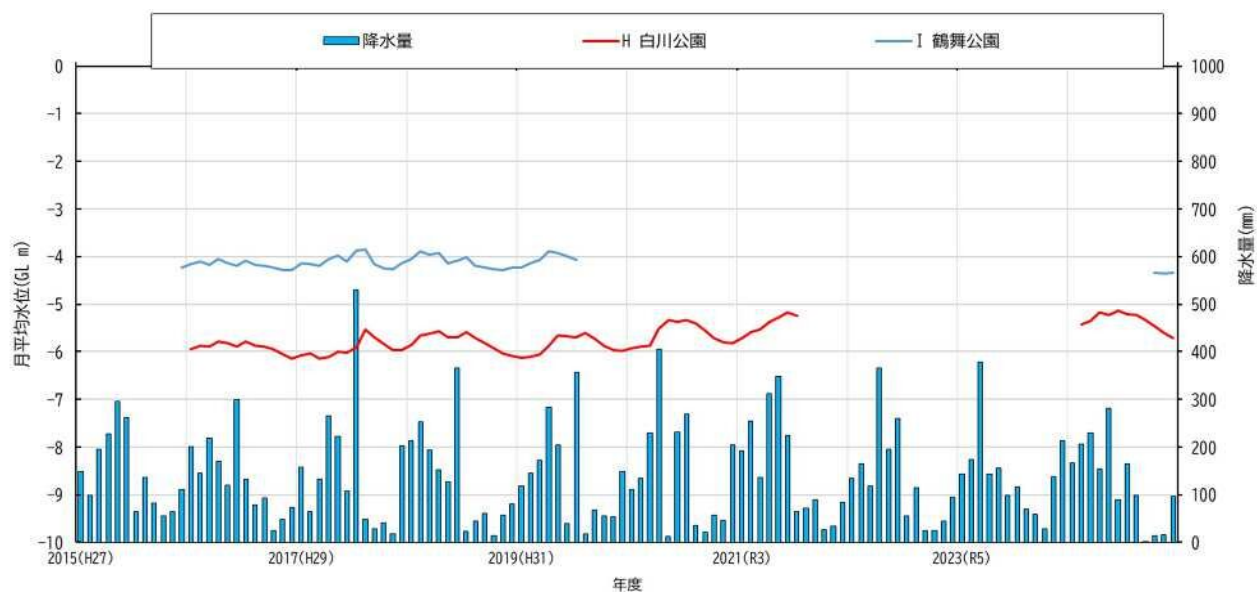
※観測井が設置されている表層地層ごとにグラフを作成。

(水の環実行計画 2030、85 ページ参照)

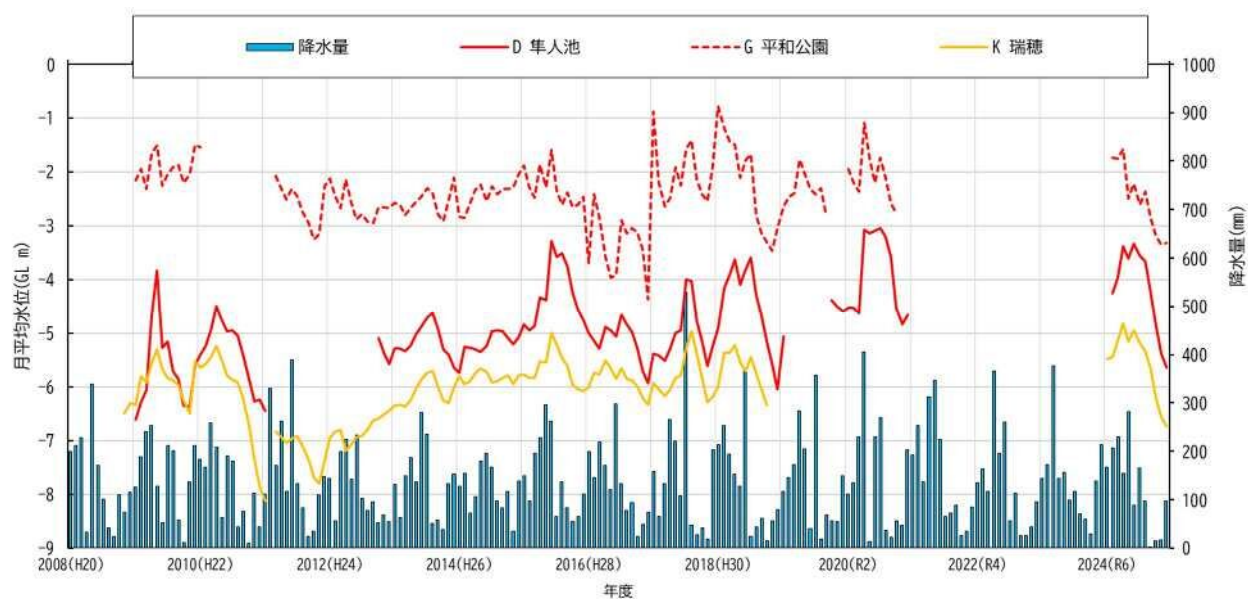
○沖積層



○大曾根層・熱田層



○八事層・唐山層・東海層群・矢田川累層(山崎川 3 観測井を除く)



○八事層・唐山層・東海層群・矢田川累層(山崎川 3 観測井)

